

居合を学ぶ

by KENZOU

2019年2月

大日本居合道協会

※居合を学び始めた初心者が自身の勉強のためにまとめたものです。おかしな記述や間違いがあるかもしれません。それらを見つけられれば、優しくご指摘・教示、ご一報いただけるとありがたい。

●居合の基本操法

- ・刀の柄に手をかける方法
- ・目付
- ・抜く前
- ・横一文字
- ・斬り下し・血振るい

●戸山流森永派本居合

- ・一本目：前の敵
- ・二本目：右の敵
- ・三本目：左の敵
- ・四本目：後ろの敵
- ・五本目：直前の敵
- ・六本目：後・前の敵
- ・七本目：右・左の敵
- ・八本目：突破

●無双直伝英信流・抜刀法

<初伝>

- ・1本目：順刀その1
- ・2本目：順刀その2
- ・3本目：追撃刀
- ・4本目：斜刀
- ・5本目：四方刀その1
- ・6本目：四方刀その2
- ・7本目：斬突刀

<奥伝>

- ・1本目：前敵逆刀
- ・2本目：多頭敵
- ・3本目：後敵逆刀
- ・4本目：後敵抜打

●無双直伝英信流

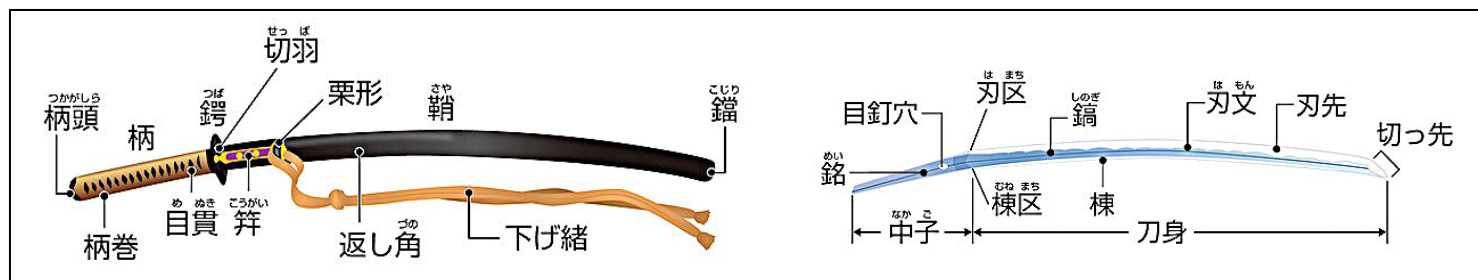
<初伝> 正座の部 11本

- ・一本目：正面
- ・二本目：右身
- ・三本目：左身
- ・四本目：後身
- ・五本目：八重垣
- ・六本目：請流
- ・七本目：介錯
- ・八本目：附込
- ・九本目：月影
- ・十本目：追風
- ・十一本目：抜打

<中伝> 立膝の部 10本

- ・一本目：横雲
- ・二本目：虎一足
- ・三本目：稲妻
- ・四本目：浮雲
- ・五本目：嵐
- ・六本目：岩波
- ・七本目：鱗返
- ・八本目：浪返
- ・九本目：滝落
- ・十本目：真向

居合の基本操法



● 刀の柄に手をかける方法

まずは合掌をして刀の柄より下に降ろし、そのまま上に上げていくと刀の柄の握りとなる。



● 目付

居合の場合には仮想敵を設定する。仮想的は自分の身長と同じとして捉え、相手の目を見る。そして、瞬きを極力せず、眉間に皺を寄せて相手の全体像を観る(遠山の目付)。



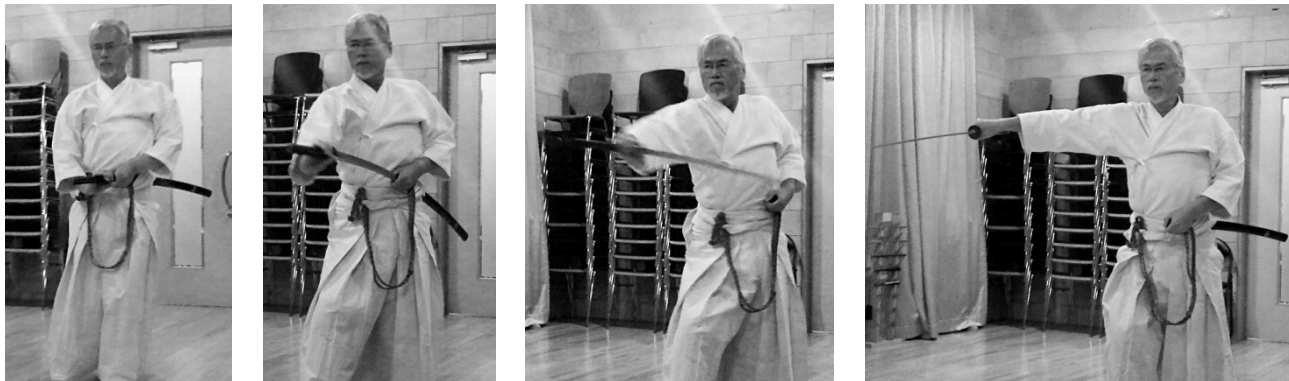
● 抜く前

腹式呼吸にて二回静かに呼吸し、三回目の息を丹田に押し込み、そのまま息をしないで抜き付ける。



●横一文字

つかがしら
柄頭が相手に向くように「^{じよ}序・^は破・^{きゅう}急」の序（すなわちゆっくりと）で抜き初め、「^{きっさき}切先三寸」すなわち切先が出かかる瞬間に^{さや}鞘を後方に振り（鞘引き）、急激に抜き付ける（相手の胸部をわが体と正対して横に斬り付ける）。抜き付けた後は、切先は相手に向かい、^{こぶし}拳と肩は水平に、そして拳は下方に曲げて、刀全体が（切先が）少し下がり、水が^{したた}滴るように傾斜をつける。



●斬り下ろし

横一文字からの振りかぶりは、右手拳を内に曲げつつ、切先が左後方に向かうようにしつつ左耳と肩の間を通るように振りかぶり、後方に垂れ下がるように振りかぶる。左手を前に押すようにしながら、相手の^{へそした}臍下まで刀を斬り下げる。



おおちぶ

●大血振るい

刀を少し右方に傾け、右拳を外側に向けながら右後方を刺すように上げ、右側頭部につける（敬礼）。この時、^{そろ}剣先は後方に垂れ下がる。右横に刀を振って立ち足を揃える。そして反対側の足を後方に出し、刀を納める。



●戸山流森永派の血振るい

左足・右足を同時に後方に送り、刃先が右外側に向かいながら切先が自分の足元に向かうように振り切る。すなわち^{あしかこ}足囲いをおこなう。

●一本目：前の敵（逆袈裟+真向斬り）

1. 敵の目を見ながら三呼吸をした後に



2. 右足を前に出すと同時に左手で鯉口を切る



3. 左足を出す時に右手で柄を握り、鞘を握る左手と柄を握る右手で瞬時に刀を反転させ（刃部が真下に）



4. 右手で刀を抜くと同時に右足を踏み出して敵の左わき腹から右肩（首の付け根）にかけて逆袈裟に斬り上げる



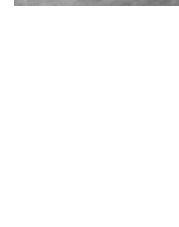
5. 左足を踏み出しつつ切先を頭上後方に向かわせて大上段に刀を構え



6. 右足を踏み出す同時に諸手真っ向から一気に斬り下ろす



7. 左足・右足の順に素早く後方へ引くと同時に足囲いの血振るいを行ない納刀



●二本目：右の敵（横一文字斬り+真向斬り）

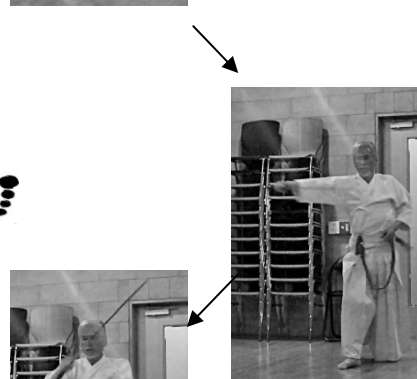
1. 右敵の気配を感じ取る



2. 顔を右敵に向け鯉口を切り、左足を右足前に置く



3. 柄頭を敵に向けて刀を抜きだし、鞘離れする直前に鞘引きし、右足を踏み込んで敵と正対すると同時に水平に斬りつける。



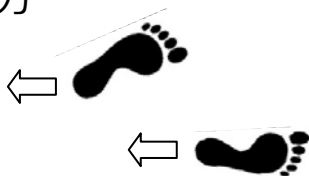
4. 左足を出しながら左耳と肩との間に切先を後方に突いて刀を上段に構え



5. 右足を踏み込んで諸手真っ向から一気に斬り下ろす



6. 左足・右足の順に素早く後方へ弾くと同時に足囲いの血振るいを行ない納刀



●三本目：左の敵（片手突き+受け流し+腰斬り）

1. 左敵の気配を感じ取る
2. 右足を出しつつ左の敵を見据えながら刀を横（刃は外向き）にして右腰に刀を寄せる。
3. 左足を敵方に出し，右足を右側に引くと同時に刀を右方に抜きだし刀の切先が鞘から出ようとした瞬間に左腰を左に捻りながら（鞘引きをする）刀の切先を出す。この時，鞘の鯉口は刀と平行となり，鯉口は左敵に向かう。刀の棟を体に当てるようにして一重身になっている（半身よりも横を向く）
4. 左足を敵方へ送り，右足を送ると同時に敵の胸元を一気に突く。このとき，右腕と鞘を握る左腕は交差する
5. 右足を左前方に踏み出し（右足と左足は平行になる）敵の刀を鎧で受ける。このとき切先は下方に向く。
6. 左足を後方に引きながら敵の腰を斬る
7. 左足・右足の順に素早く後方へ弾くと同時に足囲いの血振るいを行ない納刀



●四本目：後ろの敵（片手右袈裟+真っ向斬り）

1. 後方の敵の気配を感じる



2. 右足を出した時に鯉口に手をかけ



3. 右手を柄にかけると同時に左足を右足の前に横向きに置く



4. 顔を後方に向けながら刀を上へ抜きはじめ、足（右足・左足）のつま先に力を入れて回り、後方に向いて敵と正対したと同時に右足を踏み出し片手右袈裟で斬り付ける



5. 刀の切先を相手の顔に向け、左足を一步前を出して敵を牽制し、刀を上段に構え右足を踏み込んで斬り下げる



6. 血振るい



●五本目：直前の敵（真っ向斬り+突き）

1. その場で同時に両手で刀をつかんで刀を上
上に抜き上げ



2. 鞘離れと同時に右足を踏み出して諸手真
っ向に斬り下げる。直後に左足を右足の
後ろに送り



3. 刀の切先を相手の鳩尾辺りまで上げ
直ちに右足を踏み出すとともに腰で敵
を突く



4. 直ちに左・右足を後方に引き、刀を抜き
取る

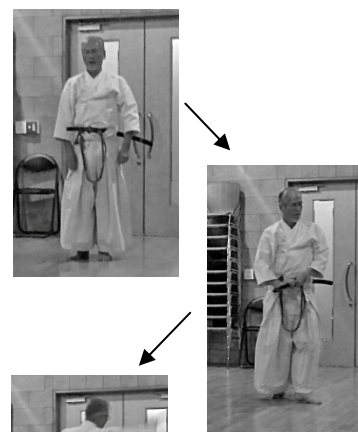


5. 血振るいを行なって納刀



●六本目：後・前の敵（後方右袈裟+前方真っ向斬り）

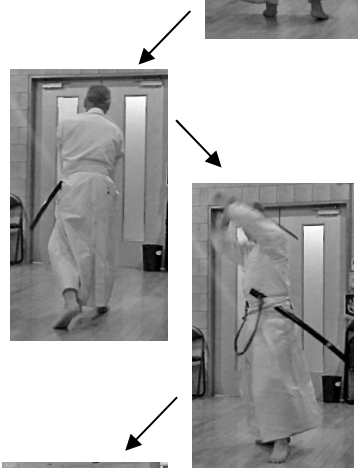
1. 右足を出すと同時に左手で刀に手をかける。左足を外側（左に）に踏み出し、右手で柄に手をかける



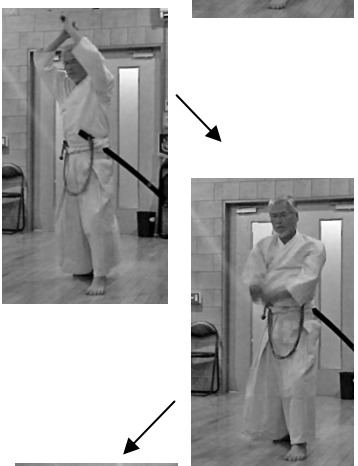
2. 左足を軸として後方に回りながら刀を抜き上げ、敵の一刀を受け流すべく自分の額の前に棟がくるように構え



3. 敵の刀が我が刀によって弾かれ後方に下がった機を捉え、左足を後方に引いて諸手右袈裟で斬る



4. 右足・左足はそのまま体の向きを反転させつつ刀を上段に構え、前方の敵を一気に直に斬り下ろす



5. 左足が前にあるので、右足を前に出し残心を示す



6. 血振るい



●七本目：右・左の敵（片手袈裟+右袈裟+突き+大上段・残心）

1. 正面に対し左側を向く



2. 右足を出して左手で鯉口を切り



3. 右足の前に左足を横に置き，右手を柄にか
かけ右方向に顔を向ける



4. 体を右に向けつつ刀を上
に抜き上げ，敵と正対する
や右足を踏み込んで片手袈
裟で斬り付ける



5. ただちに反転して右足を踏み込み諸手
右袈裟で左の敵を斬り付ける。敵が後
ろに下がったので刀を青眼に構え両腕
と腰を送って突きを入れ，直ちに抜く



6. 右足を後ろに引いて大上段の構えをとり
残心



7. 左足を後方に引き，青眼に戻し血振るい



●八本目：突破（右袈裟+左袈裟+ . . . +真向斬り）

1. その場で刀を上には抜き上げ



2. 右足を出して，右袈裟斬り



3. 切先を後方に回し



4. 左足を出して左袈裟斬り



5. 以上のことを再度くりかえし

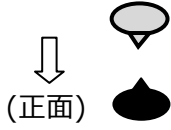
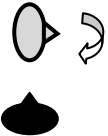
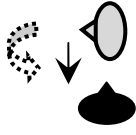
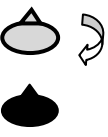


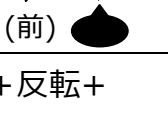
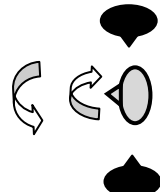
⋮

6. 最後に直に斬り下げて，血振るい，納刀



●戸山流森永派本居合：仮想敵の動きと技の流れ

2018.08.17

	本居合	技と立ち位置	仮想敵の動きと技の流れ
1	前の敵	逆袈裟斬り 	殺気を発する前の敵に対し、機を悟られずに刀を反転・抜刀し(刃が下)、右足を踏み出し逆袈裟で一気に斬り上げる。一撃を避けて後方に下がった敵を追い詰め、振りかぶって一気に斬り下す。
2	右の敵	抜き付け+真っ向斬り (横一文字) 	殺気を発する右敵を見据え、機を悟られず右回りに回り、鞆頭を敵に向けて刀を抜きつつ鞆引きし腰の捻りを活かして抜刀、正対して抜き付ける。後方に下がりてこの一刀を避けた敵に、右足を踏み込んで追い詰め、振りかぶって一気に斬り下す。
3	左の敵	突き+受流し+腰斬り 	殺気を発する左敵を見据え、機を悟られず一重身のまま刀の棟を体に当て、切先を左敵に向け突き放つ。一撃を避けた敵の反撃を正対して受流しに振りかぶり、左方に流れた敵の腰を斬り下す。
4	後ろの敵	反転・片手右袈裟+ 諸手真っ向斬り 	左足を右足前に送って真上に抜刀すると同時に時計回りに反転して敵と正対し、直ちに右足を踏み出し腰の捻りを活かし片手右袈裟で斬り付ける(抜き打ち)。後ろに下がって一刀を避けた敵に対し、左足を踏み出して追い詰め、右足を踏み込み振りかぶって一気に斬り下す。
5	直前の敵	諸手真っ向斬り+ 突き 	刀を上方に抜刀し、右足を踏み出し振りかぶって一気に諸手真っ向から斬り下す。のけ反って一撃を避けた敵の鳩尾あたりに右足を踏み込み止めの突きを入れ、切先を斬り下しつつ後ろに下がる。
6	後・前の敵	反転・受流し+諸手右袈裟+ 反転・真っ向斬り+ 残心 (後)  (前) 	刀を抜き放ちながら左回りに回って敵の初撃を受け流しに振りかぶって正対し、左足を後方に引いて諸手右袈裟で斬り付ける。即座に反転し、前方の敵と正対するや否や諸手右袈裟で斬り付け、右足を踏み出して切先を敵の喉元に向け、残心。
7	右・左の敵	片手右袈裟+反転+ 諸手右袈裟+残心 	刀を抜き放ちながら右回りに回り、右足を踏み込んで敵を片手袈裟で斬り付ける。直ちに左足を軸に反転し、右足を出して左敵を諸手右袈裟で斬りつける。この一撃を避けた敵に右足を踏み込んで止めの突きを入れる。右足を引いて上段の構えから左足を引いて刀を水平に降ろして構え残心。
8	突破	(右袈裟+左袈裟)×2 +大上段真っ向斬り	居並ぶ多数の相手に向かって斬り進む。

無双直伝英信流 <抜刀法(初伝) 7本>

●一本目「順刀その1」

切先が鞘を離れると同時に右足を踏み込んで横一文字に斬り付ける。最初の一刃を後ろに下がって避けた敵に対し、左足を踏み込み直ちに真向より一拍子の打ち下ろしで勝つ。大血振るいし（雨の雫を振り落す要領）、納刀。

●二本目「順刀その2」

切先が鞘を離れると同時に右足を踏み込んで横一文字に斬り付ける。最初の一刃を後ろに下がって避けた敵に対し、左足を右足後方に送り込み（継ぎ足）右足を大きく踏みだし直ちに真向より打ち下ろして勝つ。刀を右斜めにサッと振り下ろして血振るい（横の血振るい）し、その後納刀。

●三本目「追撃刀」

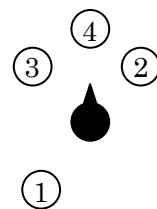
右足をだすと同時に左手で鯉口を切り、左足を踏み出すと同時に鞘頭を敵の頭部に向けて刀を抜き始め、切先が鞘を離れると同時に右足を踏み込んで真向上段より斬り下ろす。最初の一刃を後ろに下がって避けた敵に対し、継ぎ足で真向より打ち下ろす。その一刀を再び後方に下がって避けた敵に対し、継足で追い込み真向より打ち下ろして勝つ。右足を後方に引き大上段に構え、左足を後方に引いて刀を水平に構えて残心。横の血振るい、納刀。

●四本目「斜刀」

大上段に構えた敵に対し右足を踏み出し敵の右上腕を狙って逆袈裟に斬り上げる。一刀を避けた敵に対し、左足を踏み込み右足を少し後方に引き、敵の首筋に向けて左袈裟で斬り付ける。続いて右足をやや前方に大きく踏み出し、左足を後方に引いて右袈裟で敵の腰に斬りつけて勝つ。横の血振るい、納刀。

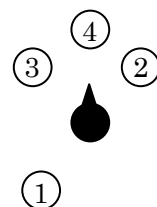
●五本目「四方刀その1」

右足をだすと同時に左手で鯉口を切り、左足を踏み出すと同時に鞘頭を②の敵に向けて刀を抜き始め、鞘離れと同時に①の敵を睨み突きを放つ。次の瞬間、②の敵を見据え正対して真向から打ち下ろす。次に左足を軸にして右足を③の敵に向け正対して真向から打ち下ろす。引き続き左足を軸足として右足を④の敵に向け正対して真向から打ち下ろして勝つ。横の血振るいし納刀。



●六本目「四方刀その2」

右足をだすと同時に左手で鯉口を切り、左足を踏み出すと同時に鞘頭を②の敵に向けて刀を抜き始め、鞘離れと同時に①の敵を睨み突きを放つ。次の瞬間、②の敵を見据え正対して真向から打ち下ろす。次に左足を③の敵に向け正対して真向から打ち下ろす。引き続き右足を④の敵に向け正対して真向から打ち下ろして勝つ。横の血振るいし、納刀。



●七本目「斬突刀」

右足をだすと同時に左手で鯉口を切り，左足を踏み出すと同時に鞘頭を敵の頭部に向けて刀を抜き始め，切先が鞘を離れると同時に右足を踏み込んで斬り下ろす。後方に避けた敵に対し左足を送り揃えて右足を踏み込んで突きを入れる。直ちに左足を少し後方に引いて刀を抜き取ると同時に左足を送り揃え，右足を踏み込んで真向から打ち下ろして勝つ。横の血振るいし，納刀。



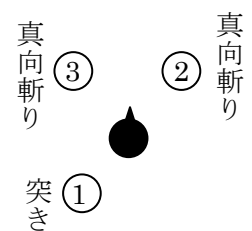
無双直伝英信流 <抜刀法(奥伝) 4本>

●一本目「前敵逆刀」

5歩の歩み足。5歩目で右足を踏み出すと同時に刀を右上方へ逆袈裟に斬り上げ，後方に下がった敵に向かって左足を踏み込み一拍子で右袈裟に斬り下して勝つ。刀を右斜めにサッと振り下ろして血振るい(横血振るい)し，その後納刀。

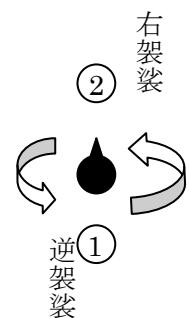
●二本目「多頭敵」

3歩の歩み足。3歩目で右足をだすと同時に左手で鯉口を切り，左足を踏み出すと同時に鞘頭を②の敵に向けて刀を抜き始め，鞘離れと同時に①の敵を睨み突きを放つ。直ちに②の敵を見据え正対して上段から真向に斬り下ろす。引き続き左足を軸に右足を③の敵に向け正対して上段真向から斬り下して勝つ。横血振るい，納刀。



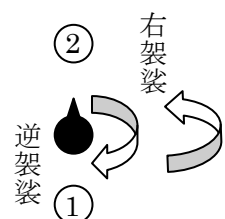
●三本目「後敵逆刀」

5歩の歩み，6歩目の左足を右足後方に送って体を左周りに反転させ，後方の敵①と正対して右上方へ逆袈裟に斬り上げる。直後，左足を軸に直ちに反転，②の敵と正体して右袈裟に斬り下して勝つ。横血振るい，納刀。



●四本目「後敵抜打」

4歩の歩み足。4歩目で鞘を上に向けて刀を抜き放ち(逆刀)右回りで体を反転し，後敵と正対して左袈裟に斬りつける。直ちに左足を軸に左反転し右袈裟に斬り下して勝つ。横振るい，納刀。



無双直伝英信流居合 <正座の部 11 本>

●一本目「前」(まえ) ※立ち膝：右足

正面に対座する敵の害意を察知し、その機先を制して敵の顔面あるいは抜刀せんとする敵の上膊部(じょうはくぶ)に横一文字に斬り付け、さらに真向上段より斬り下ろして倒す。

左手で鯉口を切ると同時に右手で柄を握り、膝をあわせ腰を浮かしながら鞘頭を敵に向けつつ抜刀し、右足を前に踏み出すと同時に横一文字に抜き付ける。のけ反った敵に対し、諸手上段の深い振りかぶりで真っ向から斬り下ろす。大血振るい、血振り刀を右斜下にサッと振り下しながら左足を右足に踏み揃えて居合腰で立つ。右足を後方に大きく引いて納刀、刀を2/3くらいまで納めると体を沈めはじめ右膝を床について納刀を終える。右足から立ち上がり、右手で鞘頭を押して鯉口を強く締める。

正面



●二本目「右」(みぎ) ※立ち膝：左足

正面に対して右向きに正座。自分の左側に自分と同じ方向を向いて座っている敵の害意を察し、機先を制して左向きに回転し、敵と正対するや否や横一文字に抜き付け、さらに真向上段より斬り下ろして倒す。

刀を抜きつつ両爪先を立てながら、右膝頭を軸として左膝頭を起こしつつ左方に回転し、左足を踏み出して横一文字に抜き付ける。のけ反った敵に対し、諸手上段の深い振りかぶりで真っ向から斬り下ろす。大血振るい、血振り刀を右斜下にサッと振り下しながら右足を左足に踏み揃えて居合腰で立つ。左足を後方に大きく引いて納刀(1本目と同じ要領)。

正面



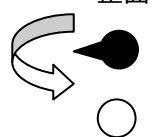
左回転

●三本目「左」(ひだり) ※立ち膝：右足

正面に対して左向きに正座。自分の右側に自分と同じ方向を向いて座っている敵の害意を察し、機先を制して右向きに回転し、敵と正対するや否や横一文字に抜き付け、さらに真向上段より斬り下ろして倒す。

刀を抜きつつ両爪先を立てながら、左膝頭を軸として右膝頭を起こしつつ右方に回転し、右足を踏み出して横一文字に抜き付ける。のけ反ってかわした敵に対し、諸手上段の深い振りかぶりで真っ向から斬り下ろす。大血振るい、血振り刀を右斜下にサッと振り下しながら左足を右足に踏み揃えて居合腰で立つ。右足を後方に大きく引いて納刀(1本目と同じ要領)。

正面



右回転

●四本目「後」(うしろ) ※立ち膝：左足

正面に対して後ろ向きに正座。自分の後ろに座っている敵の害意を察し、右膝頭を軸として左方に回り、体が90度回転したところで刀を抜き始め、敵と正対するや否や左足を踏み出し横一文字に抜き付ける。のけ反った敵に対し、諸手上段の深い振りかぶりで真っ向から斬り下ろす。大血振るい、血振り刀を右斜下にサッと振り下しながら右足を左足に踏み揃えて居合腰で立つ。左足を後方に大きく引いて納刀(1本目と同じ要領)。

正面



左回転

●五本目「八重垣」(やえがき) ※立ち膝：右足

正面に対座している敵の害意を察知し、一本目「前」と同じように横一文字に抜き付ける。初太刀をのけ反って避けた敵に対し、すぐさま左足を踏み出して斬り下ろす。「横の血振るい」をして納刀。鰐元近くまで納刀したとき、倒れた敵が右足近くを薙ぎ切りしてきたので左足を大きく引いて抜刀し、敵の刀を右足の外、右方に受け払う(脛困い)。直ちに左足を進めて膝を折り、膝頭を床に付けながら諸手上段に振りかぶって真っ向から斬り下ろす。一本目の「前」と同じように血振るいし、納刀する。

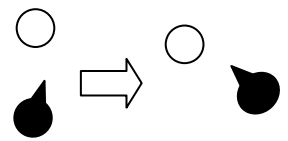
正面



●六本目「請流」(うけながし) ※立ち膝：左足

正面に対し右斜め向き(約15度)で正座。左斜側の敵が抜刀したのを見て、刀を半ば抜き、左足を少し右膝前に出して立ち上がりながら刀を抜いて頭上に切り込んでくる敵の刀を鎬で受け流す。左方に流れた敵に対し左足を軸に体を左方に回転し、敵の方に向かって左足を大きく上げて下ろし、右足を揃えながら敵の首あるいは肩口に諸手真っ向から斬り下ろす。左足を大きく横に広げ、刀の物打ちあたりが右膝の上にくるようにし、右手を逆手に握り替え納刀。

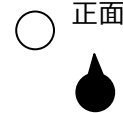
正面



●七本目「介錯」(かいしゃく) ※立ち膝：右足

前方やや左に座って切腹する人を介錯する。介錯人は正面に向い、膝を合わせて正座する。右足を踏み出しつつ立ち上がり、刀を静かに抜きだす。右足を後ろに引き、半身となって刀を右肩に担ぐように構える(このとき、刀身と鞘は平行)。機をみて、右足を踏み出し、右片手で座っている者の首に斬り下ろし、斬り終わったところで左手を添える。刀の物打ちあたりが右膝の上にくるようにし、右手を逆手に握り替え納刀。

正面



●八本目「附込」(つけこみ) ※立ち膝：右足

正面に向かい正座。敵が正面から斬り込んでくるので、右足を踏み出して刀を抜き、瞬時に右足を引いて後ろの左足に揃え(受流す気分で)敵の斬撃を外す。体勢を崩した敵の頭部に右足を踏み出しつつ左足を引き付けながら諸手真向に斬り下ろす。とどめをさすことが出来なかったので、さらに右足を大きく踏み込みつつ左足を引き付けながら、居合腰となって深く斬り下ろす。右足を引いて左上段の構えをとり残心。静かに右膝を床に着けながら中段に構え、右手を逆手として左手親指と人差し指の間に刀身に添え、右手で刀を引き上げて血を拭った後、納刀。

正面



●九本目「月影」(つきかげ) ※立ち膝：右足

正面に対し左斜め向き(約15~30度)で正座。右前から、立った敵が上段から斬りつけてこようとするので、敵に目を向け、右足を敵の方向に踏み出しつつ刀を抜き始め、立ち上がりながら右小手(肘)に斬り付ける。その一刀を後退して避けた敵に対し、左足を踏み込んで振りかぶり、右足を踏み込みながら斬り下ろす。立居のまま大血振るいして納刀。

正面



●十本目「追風」(おいかぜ)

正面に向かって立つ。腰を沈め居合腰となって、前方に逃げようとする敵に小走りで追い迫り、五歩目の右足を大きく踏み込んで横一文字に斬り付ける。さらに左足を踏み出して間を詰め、振りかぶって右足を大きく踏み込んで斬り下ろす。立居のまま大血振るいして納刀。

正面



●十一本目「抜打」(ぬきうち)

正面に向かって座る。腰を浮かしながら刀を抜いていき、左手を添えながら振りかぶり、両膝を開きながら諸手真っ向から斬り下ろす。横の血振るいをして納刀。

正面

